

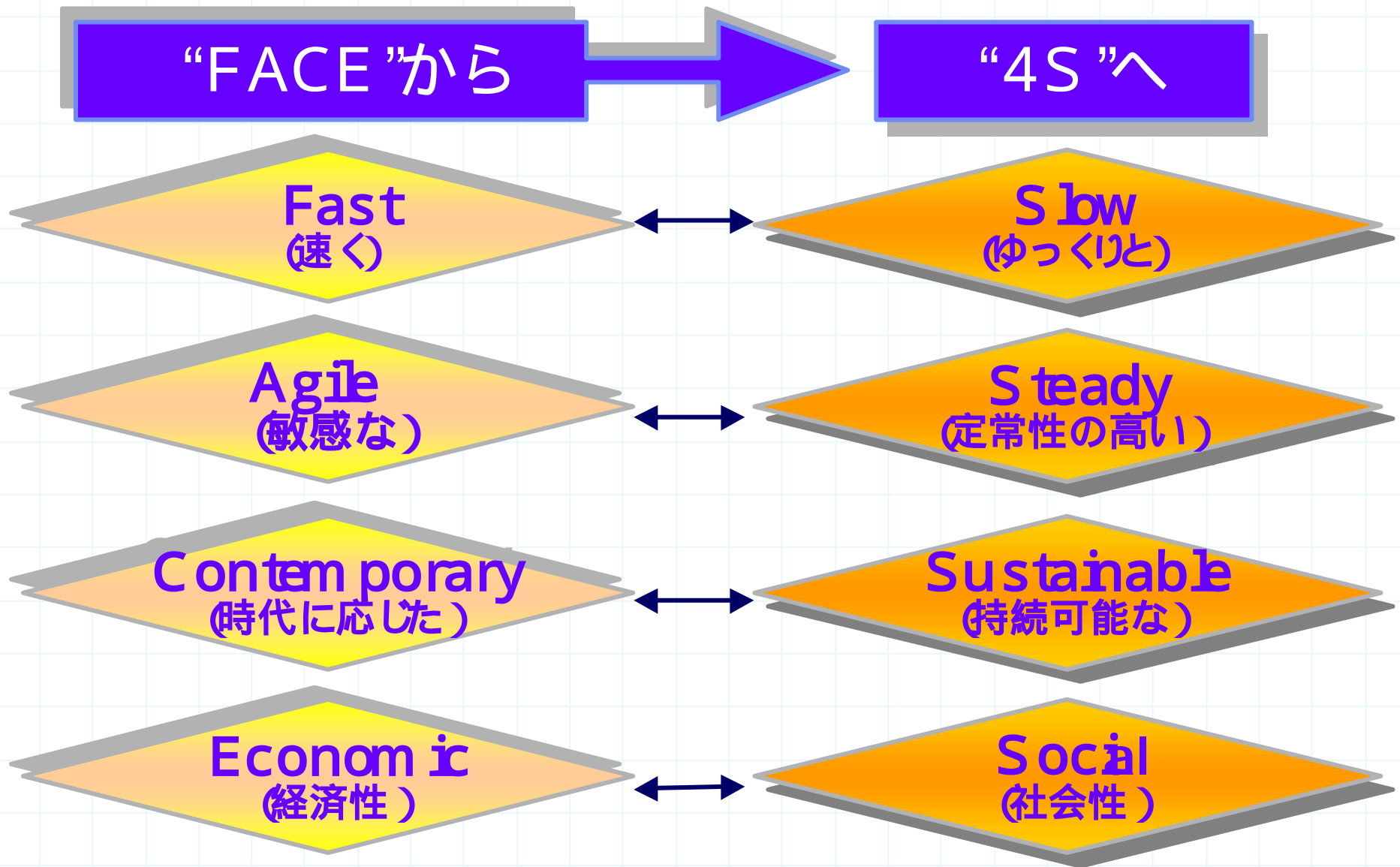
まち育み・人はぐくみ

— 社会を変える 生き方の“スタイル” —

株式会社アイ・エス・エス 中村 裕司

社会のスタイルが変わってきた

生き方のスタイル



価値のスタイルも変わってきた

生き方のスタイル

高度成長期
(1960年代～90年代)

モア&モア

エゴ

競争

排除

対立

安定成長期
(90年代～現在)

ギブ&ギブ

エコ

協調

共生

互助

ライフスタイル創造者が増えている

生き方のスタイル

“良識のある消費”の担い手

・エコロジー、地球環境に強い
関心を持つ

・人間関係、平和、社会正義、
自己実現を大事にする

Lifestyles of Health and Sustainability

持続可能な経済

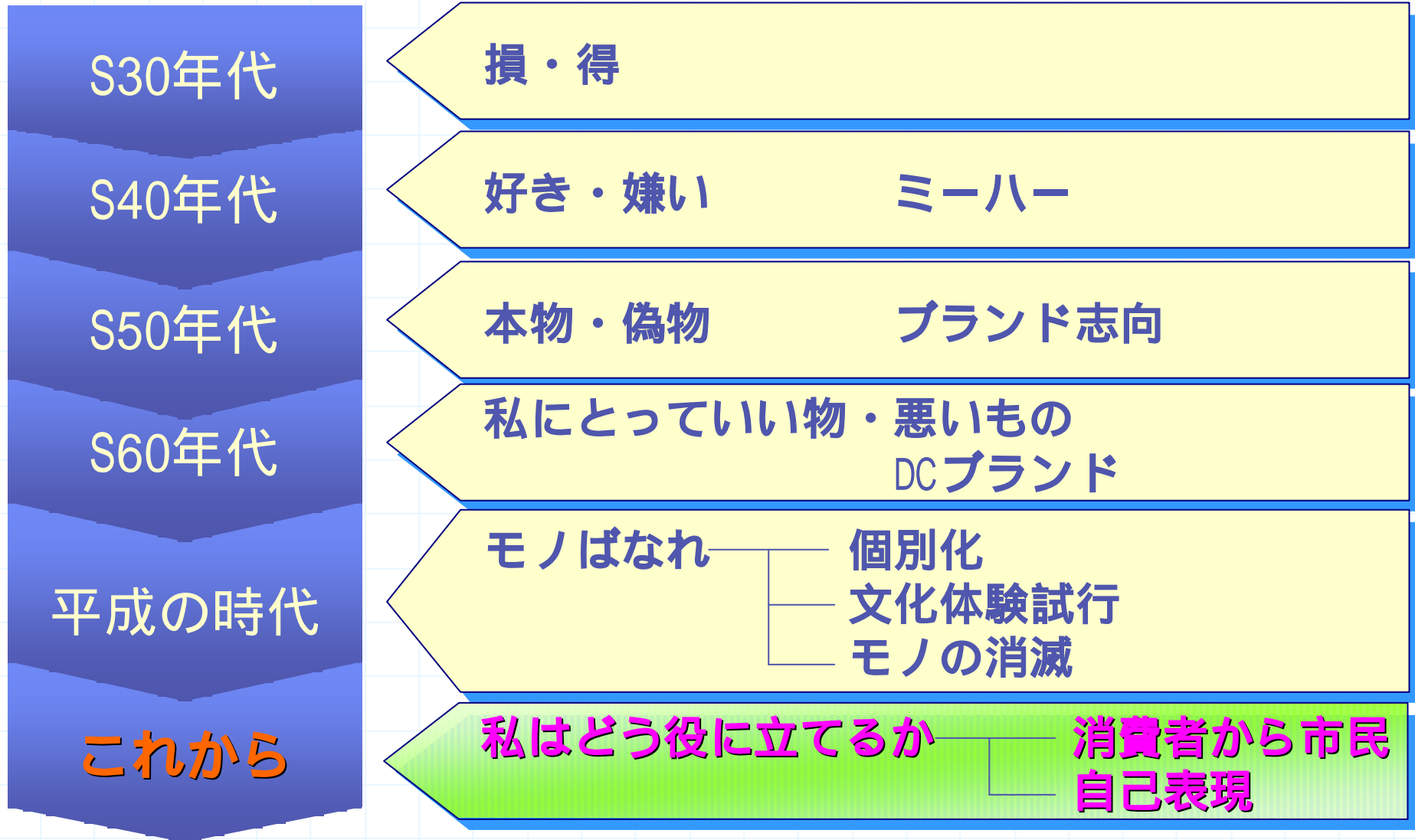
代替交通手段
再生可能エネルギー

環境に配慮した建物
社会責任投資

8.4兆円

社会と市場の変化

生き方のスタイル



国のカタチ

社会のスタイル

スタイル (かたち)

来し方

行く末

公

“官民”二分法

“官民共”三分法

地域

平均・一律・共通

個別・場合分け

公共サービス

官製サービス

社会 (市民) サービス

参加

住民慰撫

住民決定

「まちづくり」

「まち育み」

社会のスタイル

まちづくり

“カタチ”（形）づくり

「事業・予算ありき」方式

モノ・カネ・セイド（制度）

一時的・閉じた関係

開発・ごうまん・お仕着せ

手垢にまみれた

まち育み

“カチ”（価値）づくり

「人間・生活ありき」方式

ヒト・ココロ・イノチ

長期的・開かれた関係

持続・受容・自発

新鮮なひびき

まち育み は 人はぐくみ

社会のスタイル

そこに「住まい」、
そこに「暮らす」人々が、
その「たたずまい」について
いつも関われる状況をつくる

「まち育み」には“プロはいない”
誰もがプロデューサー（総合する人）
誰もがクリエイター（創造する人）
誰もがイニシエーター（始める人）
誰もがファシリテーター（促進する人）

「まちこわし」をもたらす
“従来型”事業主体・専門家を超える

これからの自治体

あるべき姿

社会のスタイル



コミュニティ資本

自治体の真の資本

社会のスタイル

目的

これまでの社会資本

インフラ整備

これからの社会資本

人間のきずな

分類

1. 産業関連社会資本

道路

港湾

農村道

工業用水

2. 生活関連社会資本

住宅

公園

上下水道

学校

1. 自然資本 : 自然環境

2. 施設資本 : 公共施設、インフラストラクチャ

3. 制度資本 : 教育、医療、子育て支援

4. 関係資本 : 「協調」「信頼」能力

近所づきあい、近隣助け合い、サークル、PTA、町内会

5. 文化資本 : 「文化的有利さ」の大小

知識、文化財、言語能力、習慣、ものの見方

行政
目標

経済的ゆたかさ
モノ

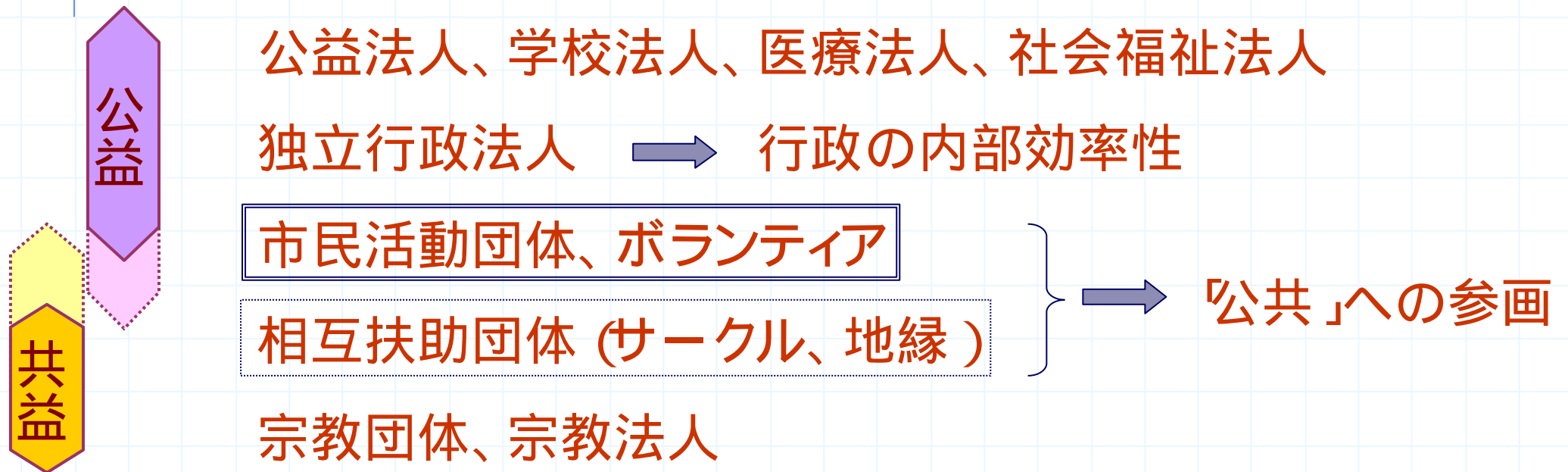
ココロのゆたかさ
関係

「共」の創発 (1) 中間集団の再発見

「公」のスタイル

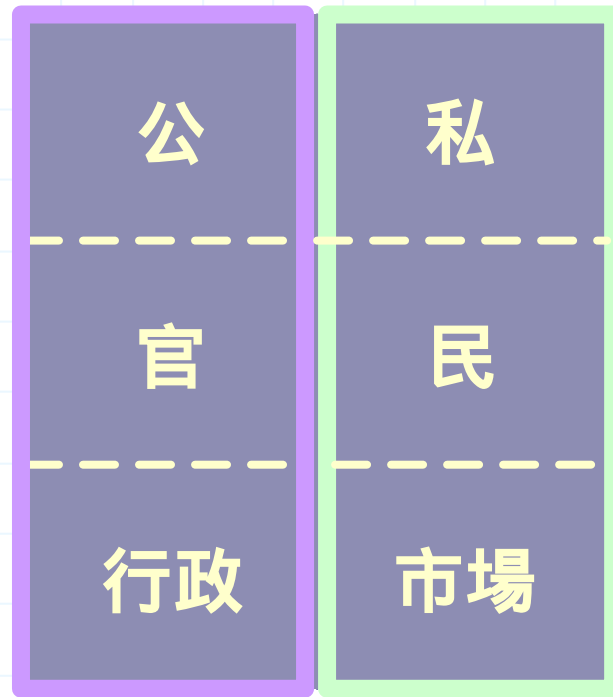
ボランティア・NPOの台頭 → 官による「公共」独占の終了
→ NPO・民営化による「官」への侵食

NPOの分類

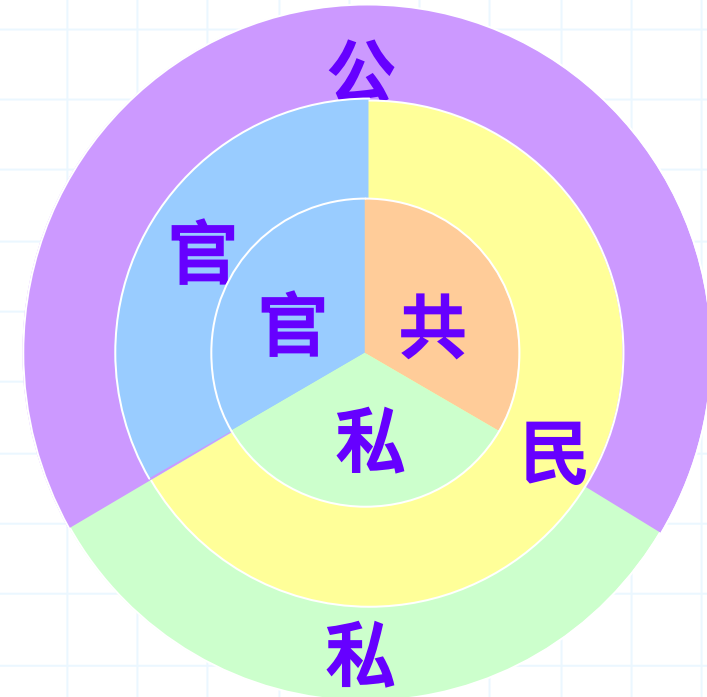
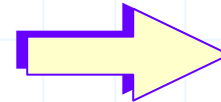


「共」の創発 (2) 官・共・私三元論

「公」のスタイル



<< 公私二元論 >>



<< 官共私三元論 >>

「共」の創発 (3) 自治体の原点回帰

「公」のスタイル

自治体 = NPO + 地縁団体 + サークル + 市役所

公

共

官

- 1 「共」機能
安心・生きがいの提供、困ったときの相談
社会の統合
様々な団体との連携
- 2 「官」機能
最も住民に近い官
帰属先を見出せない人のセイフティ・ネット

説明責任や透明性を要求しはじめたふつうの人々 市民という生き方のスタイル

関心の対象

食卓上の食べ物

包装紙

粗大ゴミ(電化製品)

シャツ・ジーンズ

預金

郵貯

発する疑問

・どんな農薬が？ ・成長ホルモン剤は？
・遺伝子組み換え食品では？

・どこの国(地域)の森の木？

・リサイクルされるの？

・どこの国のどんな工場？ ・児童労働では？
・低賃金・長時間労働の結果では？

・不正企業に投融資されていない？

・不用不急の公共事業に回っていない？
・年金・介護の赤字埋めに回っていない？

「市民」の関心と社会事業

市民という生き方のスタイル

社会事業

市民が進める事業

自然再生エネルギー

- ・市民風車 (北海道浜頓別町 2億円)
- ・自然エネルギー学校 (滋賀県新旭町)

グリーン事業

- ・緑の雇用事業 (和歌山県日高郡)
- ・木質バイオマス (岩手県葛巻町)

生態系バランス

- ・“お魚殖やす、植樹運動” (北海道根室管区)
- ・近自然河川工法 (四万十川ほか)

リサイクル

- ・EM浄化法 (沖縄県具志川市)

美しい都市づくり

- ・地方鉄道と路面電車のドッキング (独・ガールスルーエ)
- ・ダム撤去 (米・マディソン)

まち育みと地域おこし

市民という生き方のスタイル

これから

まち育み

+

地域おこし

定住人口より交流人口を増やす

そのために

地域内産業の循環

地場産業の育成

地域雇用の増大

高質な田園資産を守る（コンパクト・シティ）

そのために

市民社会的な意思決定

地域における生きがい活動

個人のアイデンティティを町村で

コミュニティ・ビジネスのすすめ

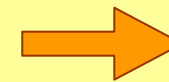
市民という生き方のスタイル

コミュニティ・ビジネスとは

既存の産業を再建し、その中から新産業を創出する

コミュニティ・ビジネスの特徴

住民主体・地域密着
適正規模・適正利益
営利とボランティアの中間ビジネス
ローカル、開放型



スロービジネス

コミュニティ・ビジネスの役割

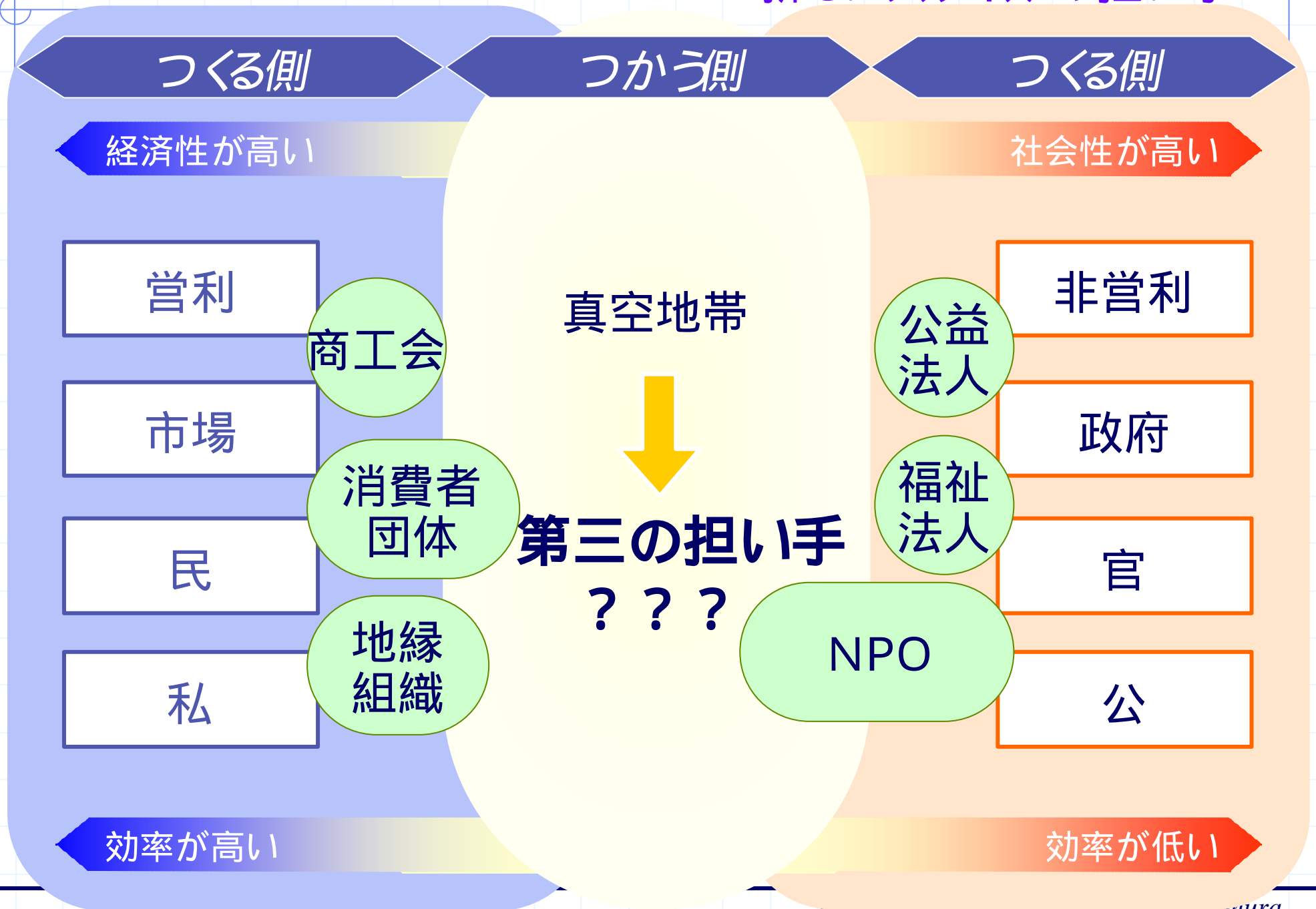
地域の問題解決
地域の雇用の創出
地域住民のコミュニケーション
生きがいの創出

コミュニティ・ビジネス ー 実例 ー

市民という生き方のスタイル

場所	人口	地域おこし	事業主体
岡山県赤坂町	5,500人	赤坂天然ライス (炊飯加工工場の運営) 年商33億円	第三セクター 赤坂町51% 民間三社49%
北海道由仁町	6,900人	ハーブのある町づくり (ハーブガーデンの運営)	第三セクター 由仁町51% JA11% 民間38%
滋賀県新旭町	11,600人	スロータウン構想 ・線'sプロジェクト ・古代米 ・チョウザメ養殖	不明

真空地帯を誰がになう？新しいスタイルの担い手



ソーシャル・アーキテクトのライフスタイル

新しいスタイルの担い手

価値観

働き方」と生き方」が同じ

働く 収入を得る手段
= 自己実現の場

使命感

社会をよくしよう」

活動

社会事業

ソーシャル・アーキテクトを定義する

新しいスタイルの担い手

“営利”と“非営利”の中間事業領域を、
“市場”と“政府”のあいだの中間集団 (NPO等) よりも
長けたビジネス・スキルを用い、
社会事業を行っていく

NPOのような企業

企業のようなNPO

ソーシャル・アーキテクト

どんなソーシャル・アーキテクトが可能か？

新しいスタイルの担い手

スタイル

特質

新しいスタイルの企業

社会志向をもっている
地域の課題に取り組む

企業の社会的活動

社会的商品を提供する
社会貢献活動として地域開発する

事業型NPO

社会的活動にビジネス・スタイルを導入するNPO

社会投資ファンド

新しいスタイルの担い手

